# I 調査結果の概要

#### 1 食肉流通の動向

#### (1) 豚

# ア と畜頭数及び枝肉生産量

全国の豚のと畜頭数は1,657万7千頭、枝肉生産量は129万3,409tで、前年に比べ それぞれ1.5%、1.9%減少した(表1)。

区分	と畜頭数	枝肉生産量			
	千頭	t			
令和3年	16, 836	1, 318, 165			
4	16, 577	1, 293, 409			
対前年比(%)	98. 5	98. 1			

表 1 豚のと畜頭数及び枝肉生産量の推移(全国)

#### イ 取引成立頭数及び卸売価格

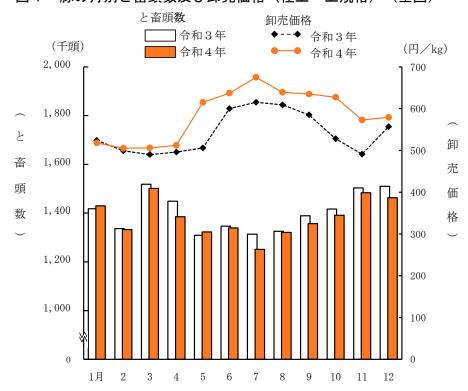
全国の豚のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は12.3%で、前年に比べ0.1ポイント上昇した(表2)。

また、月別の卸売価格(極上・上規格)は、1月で前年を下回ったものの、その他の月は前年を上回って推移した(図1)。

表2 豚のと畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合(全国)

年 次	と畜頭数	食肉卸売市場 取引成立頭数	割	合
	千頭	千頭		%
令和3年	16, 836	2, 048		12. 2
4	16, 577	2, 042		12. 3

図1 豚の月別と畜頭数及び卸売価格(極上・上規格) (全国)



## (2) 牛

## ア 成牛のと畜頭数及び枝肉生産量

全国の成牛のと畜頭数は108万2千頭、枝肉生産量は49万694 t で、前年に比べそれぞれ3.0%、2.8%増加した(表3)。

 区分
 と畜頭数
 枝肉生産量

 今和3年
 1,051
 477,172

 4
 1,082
 490,694

 対前年比(%)
 103.0
 102.8

表3 成牛のと畜頭数及び枝肉生産量(全国)

## イ 成牛の取引成立頭数及び卸売価格

全国の成牛のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は32.7%で、前年に比べ0.5ポイント上昇した(表4)。

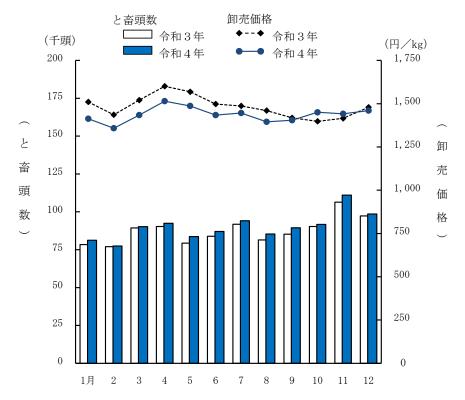
また、月別の卸売価格(去勢 $B-3\cdot 2$ 規格)は、10月及び11月で前年を上回ったものの、その他の月は前年を下回って推移した(図 2)。

表4 成牛のと畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合(全国)

年 次	と畜頭数	食肉卸売市場 取引成立頭数	割	 合
	千頭	千頭		%
令和3年	1, 051	339		32. 2
4	1, 082	354		32. 7

注:割合は、原数より算出している。

図2 成牛の月別と畜頭数及び卸売価格(去勢B-3・2規格) (全国)



# 2 鶏卵流通の動向

鶏卵生産量は258万6千tで、前年に比べ0.5%増加した(図3、表5)。 都道府県別の構成割合をみると、茨城県が8.5%と最も高く、次いで鹿児島県が6.9%、 広島県が5.3%、岡山県が5.2%の順となっている(表5)。



図3 鶏卵生産量の推移(全国)

表5 鶏卵生産量(全国及び上位10都道府県)

区分		実 数		计共生化	令和4年
区	ガ	令和3年	4	対前年比	構成比
		千t	手t	%	%
全	玉	2, 574	2, 586	100.5	100.0
うち茨	城	216	221	102.0	8.5
鹿	児 島	183	179	97.9	6. 9
広	島	135	136	101.2	5. 3
岡	山	138	134	97.4	5. 2
千	葉	107	125	117.7	4.9
群	馬	109	121	111.3	4.7
愛	知	103	120	116.0	4.6
青	森	103	106	102.8	4. 1
栃	木	110	103	93.4	4.0
兵	庫	101	97	96.4	3.8
そ	の他	1, 270	1, 243	97. 9	48. 1

注:1 統計数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない。

<sup>2</sup> 対前年比及び構成比は、原数より算出している。

<sup>3</sup> 採卵養鶏農家における自家消費量を含まない。

#### 3 食鳥流通の動向

食鳥の処理羽数は、肉用若鶏が7億3,721万7千羽、廃鶏が8,330万4千羽で前年に比べそれぞれ0.2%、6.0%増加したが、その他の肉用鶏が118万4千羽で前年に比べ31.0%減少した(図4、表6)。

また、処理重量は、肉用若鶏が222万4,140 t で前年に比べ0.1%減少、廃鶏が14万4,087 t で前年に比べ5.1%増加、その他の肉用鶏が3,416 t で前年に比べ32.0%減少した(図4、表6)。

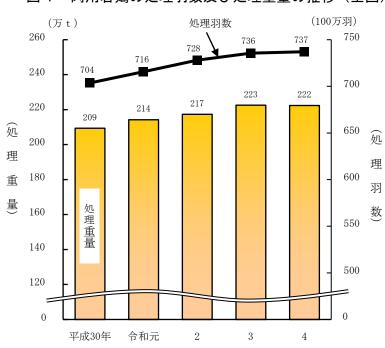


図4 肉用若鶏の処理羽数及び処理重量の推移(全国)

注: 「処理羽数」及び「処理重量」は、食鳥処理場が食鶏を食用に供する目的で処理した生体の羽数及び重量をいう。 なお、調査対象は年間の食鳥処理羽数が30万羽を超える全ての食鳥処理場である(表6においても同じ。)。

	単位	食鳥の種類			
区 分		肉 用 若 鶏	廃 鶏	その他の肉用鶏	
処理羽数(生体)					
令和3年	千羽	735, 530	78, 555	1, 717	
4	"	737, 217	83, 304	1, 184	
対前年比	%	100. 2	106.0	69. 0	
処理重量 (生体)				_	
令和3年	t	2, 225, 558	137, 033	5, 023	
4	"	2, 224, 140	144, 087	3, 416	
対前年比	%	99.9	105. 1	68. 0	

表6 食鳥の種類別の処理量(全国)